

ジメジメした季節。梅雨どきは雨や湿気が原因でさまざまなトラブルに悩まされますよね。冬に比べ、梅雨の時期に5倍も増えるといわれているのがカビです。空気中のカビを吸い込み、鼻水や咳などの症状が出たら要注意。カビは黒ずみの原因になるだけでなく、放置しておくとも健康にも悪影響を与える可能性があります。



カビが人体に与える悪影響には、感染症とアレルギーの2種類がある

カビによるアレルギー	夏型過敏性肺炎、アスペルギルス症 アレルギー性鼻炎、アトピーなど
カビによる感染症	水虫、真菌性肺炎 カンジダによる食道炎や胃腸炎 クリプトコックス症など

<カビが繁殖しやすい条件>

- ・ 70%以上の湿度（60%以上から活発に活動、80%以上で一気に繁殖）
- ・ 15～30度の気温（25～28度がもっとも生育に最適）
- ・ 栄養分（食品の食べカス、ホコリ、汚れ、ダニなど）

あなたのカビ対策知識（○か×かチェックしてみましょう）

- Q1. カビ退治には40°C程度のお湯をかけると良い
→ × 50°C以上で繁殖力が低下するので50°C以上のお湯が効果的
- Q2. 重曹はカビに効く
→ × 「洗浄効果」はあるが、「殺菌・除菌効果」はなし
- Q3. 石鹸カスは洗浄成分が入っているのでカビの栄養源にはならない
→ × 石鹸カスも栄養源になるので取り除くことが大切
- Q4. 浴室のカビ対策として入浴後に水を全てふき取る方が良い
→ ○ 水を取り除いてあげることでカビが生えにくくなる
- Q5. 浴室のカビ掃除は天井が最も重要である
→ ○ 天井を掃除しない限り天井から降ってきたカビの胞子が原因で、いくら床や浴槽をキレイにしてもカビがすぐに発生してしまう悪循環に陥ってしまう
- Q6. エアコンのカビ対策としてはフィルターを定期的に掃除すれば十分
→ × 冷房で使用した場合、フィルター掃除 + 送風機能でエアコン内の乾燥も大切
- Q7. カビは人の皮膚でも生息している
→ ○ 余分な皮脂を食べ酸性に保ち、細菌から皮膚を守ってくれる常在菌が生息している
- Q8. カビは水分を好むがダニは水分を好まないためカビとダニは同時には発生しない
→ × ダニはカビを餌とし、カビはダニの糞、死骸を餌とするため、カビが多いところにはダニも多く、ダニが多いところにはカビも多い

